

市民活動サポートセンター いなぎ

ニュースレター

No.22

2008.10.15

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒206-0802

稻城市東長沼2112-1

稻城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話 042-378-2112

FAX 042-378-6971

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

「いなぎ市民活動フェスティバル2008」

今年も「見つめよう稲城、育てよう稲城の宝」を
テーマに楽しい集いにしたいと考えておりますので、
大勢の皆さんの参加をお待ちしております。

見つめよう稲城 育てよう稲城の宝 (パート2)

- 日時／平成20年11月15日(土)
10:00~16:00
- 会場／稲城市地域振興プラザ4階
午後は屋外
- 参加費／300円
- 主催／いなぎ市民活動フェスティバル2008
実行委員会／NPO法人市民活動サポートセンターいなぎ／稲城市

※実行委員会には、サポートセンター運営スタッフのほか、利用登録団体の方にも参加していただいています。

【プログラム】

- 第1部 … 10:00~12:00
「稲城ぶらり散策マップ」作成の
裏話とQ&A
- 《昼食の部 … 災害時に使う「アルファーワン
の五目ご飯」を体験試食》
- 第2部 … 13:00~16:00
3グループに分かれ稲城の宝発見
 - A) 里山探索コース … 百村妙見尊の裏山周辺
 - B) 歴史探索コース … 押立多摩川の渡しなど
 - C) 福祉体験コース … 会場周辺で車いす体験

【問合せ・連絡先】 市民活動サポートセンターいなぎ（市役所協働推進課内）

電話 042-378-2112

FAX 042-378-6971

市内施設
探訪記

地域の縁側を目指して
社会福祉協議会 ふれあいセンター

●ふれあいセンター向陽台の
「体操教室」を見学



▲バランスボールを使って

向陽台小学校の中にある「ふれあいセンター向陽台」を訪問しました。毎週水曜日は「介護予防体操の日」です。当日はビデオを見ながらボールを使用した楽しい体操をしていました。

「きよしのすんどこ節」を歌

いながら行います。私も一緒に運動しました。椅子に座つて、柔らかいバランスボール(バレーボール位の大きさ)を上手く使って行うので手足、腰、背筋など結構伸びたように感じました。

少し休憩した後に「東京都介護予防運動推進指導員」の西尾さんの指導で「正しい歩き方」を教えていただきました。

◇目線を上に視野を広く、姿勢をよく、かかとから足をつけて、歩幅を広く、まっすぐに歩く。

◇次に横歩き。慣れてきたら横歩きにクロスを加えます。指導員の「きれいに歩けていますね」や「姿勢がいいですね」など褒めていただいて皆さんは嬉しそうでした。整理運動は「浜辺のうた」にのって、ゆっくり終わりました。

★ ★

副代表の北川さんは「簡単な体操なので、楽しみにしてきてくれます。地域の皆さんのが心地良い居場所になっていると思います」とのことです。

(稻垣)

- ふれあいセンター 平 尾
- ふれあいセンター 押 立
- ふれあいセンター 坂 浜
- ふれあいセンター 矢野口
- ふれあいセンター
百村・東長沼・大丸
- ふれあいセンター 向陽台

ふれあいセンターへお出かけください。年間利用者は約1万人、年々利用者が増加しています。登録や会費が要りませんので、是非近くのふれあいセンターへお出かけください。

外出することでお出します。地域の方々と交流することで、地域の商店やスーパーなど身近な情報なども得られます。日中ひとりで過ごす方などは、お茶やお菓子をつまみながらのおしゃべりなど、来場者の声を取り入れながら活動をしています。中でも一番の人気はバスハイクです。実費程度の負担がありますが、大勢の参加があります。

●ふれあいセンターの概要について、社協ボランティアセンターの栗原さんにお聞きしました。

いま、金曜サロンスペシャルが面白い！

八
月

「テニスよもやま話」

話し手：石黒 民子さん

石黒さんは1981年から1997年まで国際審判の仕事を続け、現在はテニスのインストラクターをしています。数多くの大会での経験が認められ、1993年にはウィンブルドン選手権で主審を務めました。

テニスはフランスで始まりイギリスで広まつたスポーツであり、サーブの語源はボールを投げる役の召使（サーバント）から来ているそうです。また、点数の数え方は時計の読み方がもとになっているというテニスの歴史や世界4大会の体験談などをビデオや写真集を見ながら楽しく話して下さいました

アガシ、グラフ、松岡修造、伊達公子・・などの名プレーヤーが登場したり、今、最も注目を集めている錦織圭選手の話もあつたりして、テニスファンにはたまらない話題の連続でした。プロといってもランキングを高めていかないと、大会に出場する費用はすべて自分でまかなければならず、大変厳しい環境だそうです。

最も印象に残つた事はウィンブルドンのセンターコートは1年に1度の本大会のためにだけ使用され、大会関係者は大会に関わる事に誇りをもつてゐるという話でした。だからこそ世界中の選手たちは伝統と格式のあるウィンブルドン大会に特別の思いを抱くのでしょうか。（廣田）

(廣用)

九
月

「ニフージーランドに魅せられて」

話し手：田中 晃さん

田中さんは、1978年に日本で開催されたスキー指導者の国際会議で、ニュージーランド（以下「NZ」）スキー教師連盟の相談役だった縁から、その後も交流を続け、その功績が認められて1988年にはアッシュバートン地方庁から特別功労賞、メスベン市から名誉市民称号を送られたそうです。

そんなわけでスキーに関する話が中心なのかなと思って参加したら、学校教育にはじまり、スポーツ、福祉、社会保障、税金、家庭生活と話は次から次へと展開・・・国土の11%が国立公園の自然豊かな国、ラグビーの強い国、キーウィに代表される飛べない鳥の国、その程度にしか認識のなかつたNZについて、見識を新たにさせられました。すべてが、他国に迎合する?ことなく独自性が貫かれていたからです。

中でも“ヘー”と感心したことは国名が2つあるということです。NZの他にも一つというのはオテアロア、マオリ語で「白く長く雲のたなびく地」の意味がそうです。

田中さんの話をお聞きし、グローバル化の中にあって独自性を貫こうとしているNZの姿勢には、日本も見習うべきものたくさんあるように思いました。（小林）

(小林)

がんばってます

19



▲ボール衣を使って寝育中・・・

1984年7月に障がいを中心とした乳幼児の親たちが健全な発達を願い、会を立ち上げてから4年間、地道に活動を続けています。1992年、市の助成を受けからは地域での療育に重点をおいた活動をしています。経験豊富な専門家による言語聴覚療法(月2回)、音楽療法(月1回)、静的弛緩(月1回)、療育活動(月2回)を地域で受けられるようになっています。

障がいをもつ子に 楽しく豊かな時間を

「稻城七つの子」

代表・松永千恵子さん

の保護者です。肢体不自由、ダウン症、自閉症、精神遅滞などの様々な障がいを持つている子どもたちが、音楽やことばなどを通して共に学びあい、楽しく豊かな時間を過ごしています。

また、月1回の定例会や学習会・懇談会なども行い、いろいろな問題について学びながら親同士の支え合いを大切にしています。バスハイクやブール活動、広報誌「七つの子だより」も発行しています。

「この会は自分たちの地域の中で気軽に相談できるところですよ。私もずっと支えられてきました。子どもたちが少しずつでもゆっくりでも着実に成長しているのを見るのは、親だけではなくスタッフにとっても喜びます」と話してくれた代表の松永さん。その穏やかな表情にはいろいろな苦労を乗り越えてきた芯の強さを感じました。障がい児を育てる若い親たちにとつて心強いことですね。

関心のある方、ぜひ見学を！

連絡先：事務局・高瀬（廣田）
(080-5338-1074)

● 第4回子育て応援フェスタ2008 ●

「親子であったか スキンシップ」 -ひとりじゃないよみんながいるよ-

■日時／平成20年11月29日（土）
午前10時～正午（開場9時30分）

■会場／稻城市地域振興プラザ4階

■内容／わらべうたと
子育てに役立つお話など

- ◆主催：稻城市地域家庭教育推進協議会
- ◆共催：稻城市立第四公民館
- ◆後援：市民活動サポートセンターいなぎ
- ◆協力：稻城市子ども家庭支援センター
子育てサポーター
- ◆企画・運営：
子育て応援フェスタ2008実行委員会
- ◎連絡先：第四公民館（377-4406）

理事会

ほらこく

9月24日 定例理事会

◎報告

- ・各プロジェクトの進捗状況について
- ・20年度上半期の事業について
- ・10月の臨時理事会開催について ほか



第7回 あい I のまち いなぎ市民祭

◆日時：10月25日（土）
26日（日）
◆場所：稲城中央公園

市民活動サポートセンターいなぎもブースを出します。
ゆっくり寛げるコーナーにしたいと思っていますので、休憩を兼ねてぜひお立ち寄りください。
お待ちしています。

夜中にこのニュースレターを作つていたら「ノーベル賞」を理学賞、日本人3人受賞」といつ朗報が飛び込んできました。さっそく翌日の新聞を丹念に読んだのですが中身はただけはよく分かりました。さだけはよく分かりました。なのに一方では地域紛争が絶えず、株価は下がりっぱなし。一体どっちが人間の本質なのでしょうか。どちらにせよ、ささやかではあっても、私たちの活動だけは地道に続けていきたいのです。（小林）

編集後記

午後7時～9時

金曜サロンスペシャル

■11月7日（金）

- ・話し手：三上 ゆり子さん
(消費者団体ふたこぶらくだ活躍中・向陽台在住)
- ・テーマ：「稲城の地産地消で新しいおいしさの発見」

おいしいってどんなこと？手づくりの楽しみ方は？加工食品・保存食も我が家流で。

のらぼうピサの提案。市販の加工食品も表示で楽しめます。表示はありがたいレシピ。食の安全確保つて？法律・行政・企業の安全管理など、グループ活動を通して学んだことをおり込んでお話ししていただきます。

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円